

平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月9日

上場会社名 株式会社ゼンショーホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7550 URL <http://www.zensho.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長兼CEO (氏名) 小川 賢太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 グループ財務本部長 (氏名) 丹羽 清彦 (TEL) 03(6833)1600
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	128,439	1.8	2,628	792.5	2,185	928.9	707	ー
28年3月期第1四半期	126,135	5.0	294	ー	212	ー	△272	ー

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △726百万円 (ー%) 28年3月期第1四半期 91百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	4.74	ー
28年3月期第1四半期	△1.83	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	275,970	71,608	21.0	391.83
28年3月期	278,340	75,060	22.2	412.18

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 58,086百万円 28年3月期 61,668百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	ー	4.00	ー	5.00	9.00
29年3月期	ー				
29年3月期(予想)		8.00	ー	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	277,679	5.4	9,552	51.5	9,099	55.3	4,631	86.6	31.14
通期	558,861	6.3	17,710	46.2	16,772	47.4	7,029	74.6	47.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	149,640,445株	28年3月期	149,640,445株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	1,396,403株	28年3月期	23,991株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	149,180,112株	28年3月期1Q	148,576,137株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。上記予想に関する事項は添付資料の3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2016年4月1日から2016年6月30日)におけるわが国経済は、雇用環境の改善が続く中、緩やかな回復基調で推移いたしましたが、世界経済の下振れリスクの高まり等により、株価や為替相場の不安定感が増すなど、先行き不透明な状況が続きました。

外食産業におきましては、個人消費が本格回復に至らない中、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような状況の中、「すき家」をはじめとする牛井カテゴリーの既存店売上高前年比は102.3%、「ココス」、「ジョリーパスタ」をはじめとするレストランカテゴリーの既存店売上高前年比は95.6%、「はま寿司」をはじめとするファストフードカテゴリーの既存店売上高前年比は100.6%となりました。収益面につきましては、牛肉価格を中心とした食材仕入コストやエネルギーコストの低減等により、前年対比増益となりました。

当第1四半期連結会計期間末の店舗数につきましては、35店舗出店、16店舗退店および大和フーズ株式会社の全株式譲渡による65店舗減等により、4,781店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,284億39百万円(前年同期比1.8%増)、営業利益26億28百万円(同792.5%増)、経常利益21億85百万円(同928.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益7億7百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億72百万円)となりました。

セグメント別の概況につきましては、以下の通りであります。

①外食事業

外食事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は1,133億3百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益は24億34百万円(同620.3%増)となりました。

外食事業における主要カテゴリーの状況は、以下の通りです。

(牛井カテゴリー)

牛井カテゴリーの当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、19店舗出店、5店舗退店した結果、2,631店舗となりました。内訳は、「すき家」1,969店舗、「なか卯」467店舗(F C 14店舗を含む)等であります。

株式会社すき家本部が経営する牛井チェーンの「すき家」につきましては、お客様の多様なニーズにお応えできるよう、2009年以降の再登場となる「マーボーナス牛井」(並盛税込490円)をはじめ、「すき家de健康」をテーマとした「まぐろなめろう井」(並盛税込650円)、シーズナル商品である「うな井」(並盛税込780円)や「うな牛」(並盛税込880円)を導入し、商品力の強化に取り組んでまいりました。引き続きお客様に安全でおいしい商品を安心して召し上がっていただけるよう、品質管理の徹底とサービス水準の向上に努めてまいります。

株式会社なか卯が経営する井ぶり・京風うどんの「なか卯」につきましては、新商品・季節限定商品の投入や既存商品のブラッシュアップによる商品力の強化と店舗販促の実施により、業績の向上に努めてまいりました。

以上の結果、牛井カテゴリーの当第1四半期連結累計期間の売上高は、457億73百万円(前年同期比3.7%増)となりました。

(レストランカテゴリー)

レストランカテゴリーの当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、4店舗出店、3店舗退店した結果、1,368店舗(F C 78店舗を含む)となりました。

株式会社ココスジャパンが経営するスタンダードレストランの「ココス」につきましては、メニューのラインアップの強化、ごちそう感のあるフェアメニューの投入および店舗のサービス水準の向上に取り組み、業績の向上に努めてまいりました。

株式会社ビッグボーイジャパンが経営するハンバーグ&グリルレストランの「ビッグボーイ」等につきましては、メイン商品のブラッシュアップを図るとともに、サラダバー・スーパバーの充実やフェアメニューの投入を行うなど、業績の向上に努めてまいりました。

株式会社ジョリーパスタが経営するパスタ専門店の「ジョリーパスタ」につきましては、「パスタならジョリーパスタ」をテーマに、パスタ専門店の魅力をよりお客様へアピール出来るよう、メニューのラインアップの拡充や旬の食材を活かした新商品の投入を行い、一層のおいしさを追求してまいりました。

株式会社華屋与兵衛が経営する和食レストランの「華屋与兵衛」につきましては、お客様の満足度の向上を図るため、旬の食材を活かした商品の開発および店舗従業員の教育強化によるサービス水準の向上、労働生産性の改善等に努めてまいりました。

以上の結果、レストランカテゴリーの当第1四半期連結累計期間の売上高は、311億78百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

（ファストフードカテゴリー）

ファストフードカテゴリーの当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、10店舗出店、5店舗退店および大和フーズ株式会社の全株式譲渡による65店舗減等により、685店舗となりました。

株式会社はま寿司が経営する回転寿司の「はま寿司」につきましては、積極的な出店による業容の拡大を図るとともに、商品品質の向上、店舗サービスの強化等に努めてまいりました。

以上の結果、ファストフードカテゴリーの当第1四半期連結累計期間の売上高は、297億21百万円（前年同期比8.8%増）となりました。

（その他カテゴリー）

その他カテゴリーの当第1四半期連結累計期間の売上高は、66億29百万円（前年同期比3.5%減）となりました。

当カテゴリーの主な内訳は、冷凍ピッツァ等販売の株式会社トロナジャパン、グループの物流機能を担う株式会社グローバルフレッシュサプライ、備品・ユニフォーム等を調達する株式会社グローバルテーブルサプライ等でありま

②小売事業

小売事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は151億36百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益は1億94百万円（前年同期は営業損失43百万円）となりました。

当事業の内訳は、スーパーマーケット事業を展開する株式会社マルヤ、株式会社マルエイ、株式会社尾張屋及び青果販売等の株式会社ユニテッドベジーズ等であります。

（2）連結財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産は2,759億70百万円となり、前連結会計年度末から23億70百万円減少いたしました。これは主に、自己株式の取得に伴う現金及び預金の減少や大和フーズ株式会社の全株式譲渡に伴う資産の減少等によるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債は2,043億61百万円となり、前連結会計年度末から10億81百万円増加いたしました。これは主に、借入金の増加等によるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は716億8百万円となり、前連結会計年度末から34億51百万円減少いたしました。これは主に、自己株式の取得及び為替換算調整勘定の減少等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2017年3月期の業績予想につきましては、2016年5月12日発表の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 2016年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2016年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,925	19,656
受取手形及び売掛金	5,443	5,086
商品及び製品	17,988	18,211
仕掛品	515	619
原材料及び貯蔵品	3,808	3,954
その他	16,009	16,450
貸倒引当金	△16	△15
流動資産合計	64,675	63,964
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	170,269	169,637
減価償却累計額	△93,982	△94,216
建物及び構築物（純額）	76,286	75,420
機械装置及び運搬具	12,830	13,097
減価償却累計額	△6,371	△6,541
機械装置及び運搬具（純額）	6,459	6,556
その他	89,526	90,761
減価償却累計額	△44,832	△45,355
その他（純額）	44,694	45,405
有形固定資産合計	127,440	127,382
無形固定資産		
のれん	13,199	12,995
その他	2,998	2,872
無形固定資産合計	16,197	15,867
投資その他の資産		
投資有価証券	1,848	1,862
差入保証金	33,511	33,027
その他	34,600	33,817
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	69,946	68,693
固定資産合計	213,583	211,943
繰延資産	81	62
資産合計	278,340	275,970

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2016年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,548	15,748
短期借入金	3,870	9,141
1年内償還予定の社債	9,750	10,450
1年内返済予定の長期借入金	33,207	37,423
未払法人税等	1,849	509
引当金	1,587	1,013
その他	27,458	31,349
流動負債合計	94,271	105,636
固定負債		
社債	3,505	1,705
長期借入金	89,467	80,229
退職給付に係る負債	748	609
資産除去債務	2,109	2,108
その他	13,178	14,073
固定負債合計	109,008	98,725
負債合計	203,280	204,361
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,470	23,470
資本剰余金	24,261	24,261
利益剰余金	15,697	15,679
自己株式	△21	△2,021
株主資本合計	63,408	61,390
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△283	△250
繰延ヘッジ損益	△1,209	△1,789
退職給付に係る調整累計額	△63	△61
為替換算調整勘定	△184	△1,203
その他の包括利益累計額合計	△1,740	△3,304
非支配株主持分	13,391	13,522
純資産合計	75,060	71,608
負債純資産合計	278,340	275,970

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
売上高	126,135	128,439
売上原価	56,089	54,515
売上総利益	70,045	73,924
販売費及び一般管理費	69,751	71,296
営業利益	294	2,628
営業外収益		
受取利息	103	101
受取配当金	2	2
受取賃貸料	62	57
為替差益	47	—
その他	196	147
営業外収益合計	412	309
営業外費用		
支払利息	329	293
賃貸費用	42	34
為替差損	—	233
その他	122	190
営業外費用合計	494	751
経常利益	212	2,185
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	0	—
関係会社株式売却益	—	1
収用補償金	6	9
子会社清算益	285	—
その他	0	0
特別利益合計	293	12
特別損失		
固定資産除却損	56	246
店舗閉鎖損失	27	23
その他	83	158
特別損失合計	167	428
税金等調整前四半期純利益	338	1,769
法人税、住民税及び事業税	390	421
法人税等調整額	133	495
法人税等合計	524	917
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△185	851
非支配株主に帰属する四半期純利益	86	144
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△272	707

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△185	851
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	315	28
繰延ヘッジ損益	6	△580
退職給付に係る調整額	0	1
為替換算調整勘定	△44	△1,028
その他の包括利益合計	277	△1,578
四半期包括利益	91	△726
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6	△858
非支配株主に係る四半期包括利益	85	132

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント		合計	調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	外食事業	小売事業			
売上高					
外部顧客への売上高	110,711	15,423	126,135	—	126,135
セグメント間の内部売上高 又は振替高	492	28	521	△521	—
計	111,203	15,452	126,656	△521	126,135
セグメント利益又は損失 (△)	337	△43	294	△0	294

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	外食事業	小売事業			
売上高					
外部顧客への売上高	113,303	15,136	128,439	—	128,439
セグメント間の内部売上高 又は振替高	675	25	701	△701	—
計	113,979	15,162	129,141	△701	128,439
セグメント利益	2,434	194	2,628	△0	2,628

(注) 1. セグメント利益の調整額△0百万円には、主にセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。